

**奥田順之（特定非営利活動法人人と動物の共生センター 理事長）**

岐阜大学獣医学課程卒業。在学中に殺処分問題解決を目的とした学生団体ドリームボックスを設立。卒業後、動物病院勤務の傍ら、東海若手起業塾・起業の学校等ソーシャルビジネス支援プログラムに参加し、2012年3月NPO法人人と動物の共生センター設立・理事長に就任。同年4月ドッグ&オーナーズスクールONELife開業。2014年4月ぎふ動物行動クリニック開業。2017年10月獣医行動診療科認定医取得。

**人と動物の共生センター**：人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて、誰もが他者を思いやることの出来る社会創りに貢献することを目的に2012年に設立。飼い主からの放棄を防ぐための活動と、ペット産業からの余剰動物の発生を防ぐための活動に取り組んでいる。

**加藤 剛（公益財団法人トヨタ財団 国内助成プログラム プログラムオフィサー）**

国際基督教大学（ICU）、ジュネーブ大学経営大学院（MBA）卒業。アイエヌジー生命保険（現エヌエヌ生命保険）、国際協力機構ガーナ事務所、ワールド・ビジョン・ジャパンを経て2014年7月より現職。国内における地域課題解決を目的としたプロジェクトを支援する助成プログラムを担当。日本評価学会認定評価士。非営利組織評価センター評価制度開発検討委員。「NPO評価研究所」主宰。

**トヨタ財団**：1974年にトヨタ自動車によって設立された助成財団。世界的な視野に立ち、しかも長期的かつ幅広く社会活動に寄与するため、生活・自然環境、社会福祉、教育文化などの領域にわたって時代のニーズに対応した課題をとりあげ、その研究ならびに事業に対して助成を行っている。

**土肥りさ（特定非営利活動法人Paka Paka 事務局長）**

聖隷介護福祉専門学校で介護福祉士を取得。5年の高齢者施設勤務を経て、日本福祉大学へ社会人編入。在学中に障がい福祉系NPOの立ち上げに関わる。長男が発達障がいであることがきっかけとなり、2015年3月NPO法人Paka Pakaを夫とともに立ち上げる。現在事務局長として 運営に携わりながら、発達障がい児の家族支援の充実を目指し活動している。

**Paka Paka**：知多半島の発達障がい児に対し、ABA（応用行動分析）をベースとした個別療育と集団療育を公的サービスとして行っている。療育の情報が行き届かない郊外へもサービスが行き渡るよう、専門的な療育と地域福祉を重視し、家族支援も含めた発達障がい児の包括的支援体制の構築を目指している。